

令和7年3月11日

足立区立第十中学校
校長 田村 和夫 様

足立区立第十中学校
開かれた学校づくり協議会
会長 東 誠一郎

令和6年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

生徒は礼儀正しく、真面目に授業を受けることができる。協議会主催の3年生全員面接練習では、入試に向けて一生懸命に取り組む姿勢が見受けられ、毎年のことながら安心している。入学してきた1年生もはじめは心配であったが、教職員の個に応じた指導や各家庭の協力のおかげで、4月から新入生の先輩として恥ずかしくない行動がとれるようになっていく。

年度当初の区学力調査の通過率が71.7%と高い水準を維持している。基礎基本の徹底を教職員一丸となって取り組んでいることが成果となって表れている。生徒の90%以上がわかりやすい授業と肯定的回答していることはとても素晴らしい。生徒一人ひとりを大切に楽しくわかりやすい授業を常に実践している教員の努力・工夫の結果だと思う。今後も授業改善を図り、わかりやすい授業で自ら学びに向かう力を育む指導を進めてほしい。

スマースクールや勉強合宿等を通して低学力の生徒の抽出による個別指導を実践し、基礎学力の定着を図っている。来年度は計画通り実行できることを望んでいる。これからも基礎基本の定着とさらなる学力の向上のための指導をお願いしたい。

そして、教員に対する生徒の信頼度については、現状に満足せずさらに、信頼度の向上を目指してもらいたい。ただし、必要に応じて生徒に対して毅然とした態度での指導もお願いしたい。

部活動も多く多くの生徒が入部し、多くの活躍の場面を増やしてくれていることに感謝したい。人との繋がりやつらくても他の部員と一緒に協力してやり遂げられた達成感など学んでいる。健全育成の観点からも重要な活動であるので、指導の充実を図り、より一層の取り組みを実践していただきたい。

引き続き次世代を担う生徒たちのためより一層「生きる力」を身につけさせていきたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

保護者アンケートでは「学校教育に満足している」という肯定的意見が8割以上であるが残りの2割にも焦点を当て、是非とも100%に近い保護者が「学校が楽しい」「満足している」と感じられる環境を作りあげてほしい。地域としても全面的に協力していきたいと思う。最後に今年度の様々な取り組みに対して感謝申し上げる。